

冬も夏も快適。

高断熱 高気密
DANNETSU

**ダンネツ
壁パネル**



高気密で省エネ。

地震に強い。

優れた施工性。

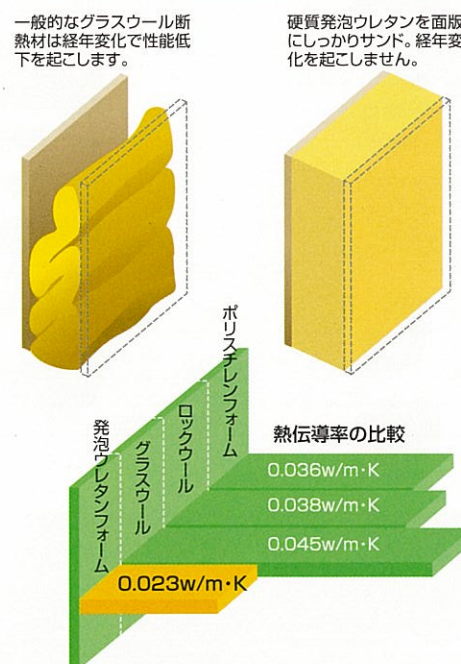


DNT 株式会社 **ダンネツ**

1年中の快適。

断熱性

一般的に多く使われているグラスウール断熱材は気密等の不備により、室内の湿気が貯まりやすく壁内結露の発生や沈下で断熱性能を著しく低下させます。
[ダンネツ壁パネル]は面材にサンドしたコア内部に高い断熱性を誇る硬質発泡ウレタンを高圧注入しているため、性能など経年変化は有りません。発泡ウレタンの断熱性能(熱伝導率)はグラスウールの約半分の熱しか伝えません。



熱を逃がさない。

気密性

冬暖かく省エネの住まいの実現には高气密化は欠かせません。気密不良の住まいはエネルギーのムダだけに止まらず、躯体内部の結露を誘発し様々なトラブルの要因になります。

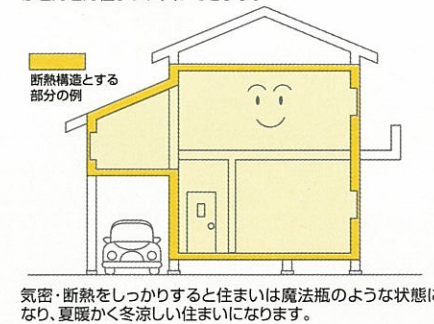
[ダンネツ壁パネル]は一体造形だから接合部分に気密漏れをつくらず高气密化住宅を実現しています。



せっかく暖房しても熱が逃げてしまいます。夏は逆に熱気がどんどん住まいに入ってきます。

気密住宅のメリット

- 快適な室内環境
すき間風の発生をなくし、各部屋の温度差を少なくします。
- 省エネ住宅に
暖冷房エネルギー消費量が約半分に大幅な節約になります。
- 環境にも配慮
エネルギー消費量が少ないのでCO2排出が減少。環境に優しい「エコロジー住宅」になります。



KABE PANEL

自然災害にも強く、冬暖かく夏涼しい 長持ちの家づくりを実現するダンネツ壁パネル。

間柱(101mm×27mm)

構造用合板(厚9mm)

硬質発泡ウレタン(101mm)

ラワンベニヤ(厚4mm)

胴縁(18mm×45mm)

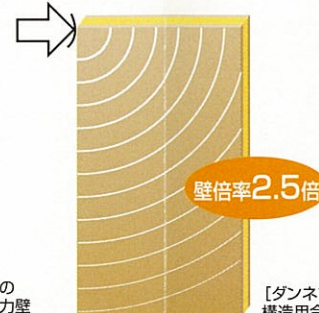
気密パッキン

※上記の寸法は105mm厚の標準用です。
※70mm厚の場合、発泡ウレタンは66mm厚です。
(胴縁なし)

地震に負けない。

耐震性

日本の住まいは伝統を受け継いだ木造軸組工法(在来工法)で建てられている事が多く「すじかい+木すり」の壁で自然災害に備えています。しかし、過去の災害では「耐力壁」の不備の住宅で多くの被害が有りました。
[ダンネツ壁パネル]は木造骨組みに接合する工法により、地震や台風の巨大な横の力(水平力)を壁全体で受け止め、分散させます。万が一の災害に優れた強度を発揮します。



地震に弱い建物

- 壁量・強度の不足
- 接合部の不備
- 壁の配置のアンバランス
- 軸材欠損・老朽化・腐朽

[ダンネツ壁パネル]は構造用合板の面材耐力壁

音を入れない。

遮音性

外からの音は、空気を伝わってくる「空気音」です。音は振動ですから空気の通るすき間を作らない気密性と、壁材には素材の違う複合材質を使うと遮音効果が高まります。

[ダンネツ壁パネル]は3種類の材質で出来ていますので遮音性に優れご家族のプライバシーもしっかり守ります。

[ダンネツ壁パネル]は3重構造でしっかり遮音



品質安定で作業もラク。

施工性

[ダンネツ壁パネル]は寸分の狂いも出さない管理体制で工場生産されています。高い寸法安定性を誇る品質は建築現場での気密・断熱施工を容易に行え、クレーン等の重機を必要としません。



自在な空間づくり。

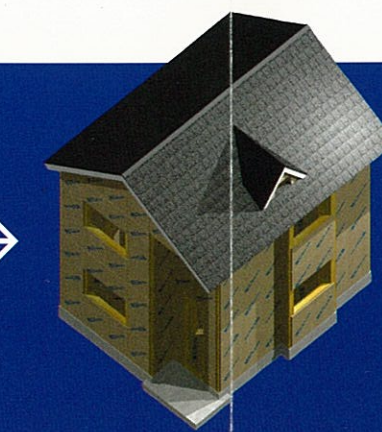
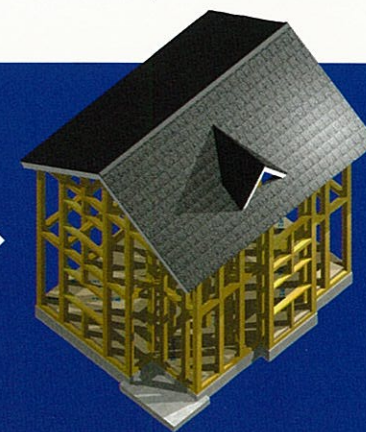
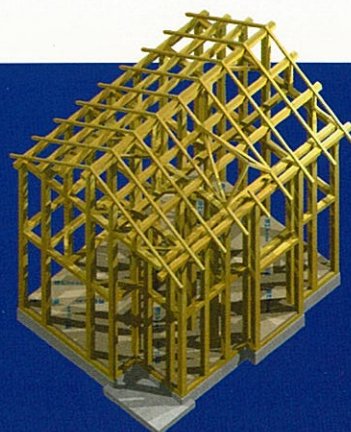
自由性

日本の風土に根ざした在来工法のメリットは、自由な間取りが可能なこと。
[ダンネツ壁パネル]は、どのようなタイプの日本住宅にも対応出来る全24種のラインナップをご用意しています。増改築など1枚から規格外寸法でも、柔軟な受注体制を整えています。



施工手順

[ダンネツ壁パネル]は、木造在来工法の複雑な気密・断熱処理をパネル化により、大幅な工期短縮を実現しています。



壁パネルの施工が終了した状況



防風シートを貼り外壁仕上げに施工に入ります

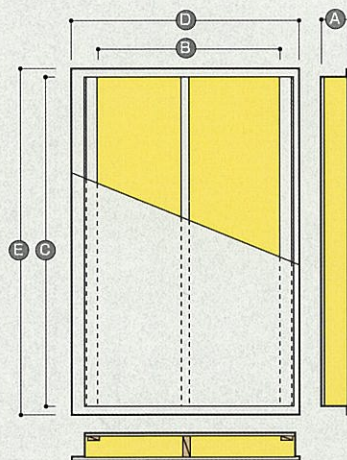


規格表 (柱105mm, 間柱42mm)

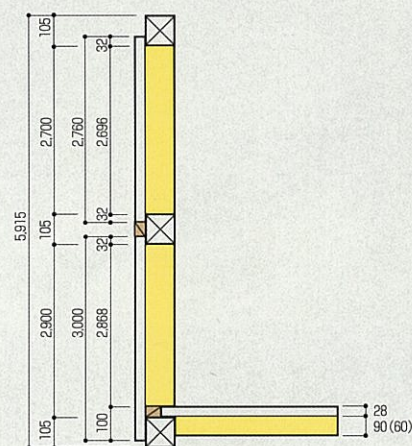
タイプ	記号	A 厚さ (mm) ※	ウレタン寸法 (mm)		合板寸法		一枚当りの重量 (kg)
			B 幅	C 長さ	D 幅	E 長さ	
KS	9-1HH	105	801	2,696	907	2,760	約35
	9-1HMH	105	832	2,696	907	2,760	約35
	9-1MM	105	864	2,696	907	2,760	約36
	9-2HH	105	346	2,696	452	2,760	約15
	9-2HMH	105	377	2,696	452	2,760	約15
	9-2MM	105	409	2,696	452	2,760	約16
	10-1HH	105	801	2,868	907	3,000	約35
	10-1HM	105	832	2,868	907	3,000	約35
	10-1MH	105	832	2,868	907	3,000	約35
	10-1MM	105	864	2,868	907	3,000	約36
	10-2HH	105	346	2,868	452	3,000	約16
	10-2HM	105	377	2,868	452	3,000	約16
	10-2MH	105	377	2,868	452	3,000	約16
	10-2MM	105	409	2,868	452	3,000	約16

※ 70mm厚の場合、発泡ウレタンは66mm厚です。(銅線なし)

■商品寸法図



■納まり図 (壁パネル+根太レスパネル)



DANNETSU

URL <http://www.dan-netsu.co.jp> E-mail info@dan-netsu.co.jp

■本社	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	Tel (0166) 61-9151 Fax (0166) 61-2044
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和5条4丁目9-17	Tel (0166) 62-7575 Fax (0166) 61-1715
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地の4	Tel (011) 875-3966 Fax (011) 875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地の4	Tel (011) 875-3969 Fax (011) 875-3971
■ウレタン事業部札幌事業所	〒003-0869 札幌市白石区川下2127番地の4	Tel (011) 875-3972 Fax (011) 875-3974
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西20条北2丁目27番地10	Tel (0155) 41-4101 Fax (0155) 41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木5丁目15番地	Tel (0154) 36-1790 Fax (0154) 36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町174番地16	Tel (0157) 36-3557 Fax (0157) 36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉1丁目27-4	Tel (048) 783-1666 Fax (048) 783-1667
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町362-6	Tel (028) 636-1266 Fax (028) 636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土4丁目2-69	Tel (0463) 54-6484 Fax (0463) 54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町字西割4312-3	Tel (029) 248-6761 Fax (029) 248-6762
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町16番2	Tel (043) 258-4065 Fax (043) 258-4025
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木301番地	Tel (048) 458-1455 Fax (048) 456-3877
■旭川第1工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町8線西2号	Tel (0166) 87-4442 Fax (0166) 87-4888
■旭川第2工場	〒070-0014 旭川市新星町514-1	Tel (0166) 21-7080 Fax (0166) 21-7080



安全に関するご注意

- 本製品のご使用にあたっては、施工マニュアルをよくお読みの上、事故の無いように正しくお使い下さい。
- 本製品は、自己消炎性の素材を使用していますが、火気に触れると燃焼してしまうことがあります。現場などでは、火気のそばに置かないようにご注意下さい。
- 本製品は、強い衝撃を与えると破損する恐れがあります。取り扱いには十分ご注意下さい。



注意事項

- 製品の仕様等は予告なしに変更する場合があります。
- 本カタログの記載事項は、細心の注意を払って実施した当社の試験に基づくものですが、実際の使用結果を保証するものではありません。
- 本製品は長時間直射日光に当たると表面から徐々に劣化しますので、屋外保管にはシート等で直射日光を避けるか、屋外露出が長時間にならないように使用して下さい。施工後も速やかに仕上げ施工を行って下さい。
- ガソリンなどの有機溶剤は本製品を容易に侵しますので本製品に触れることのないようにして下さい。
- 接着剤等が必要な場合には、水性のものを使用して下さい。
- 本製品のご使用方法及び本製品を使用した製品に関する工業所有権については、保証するものではありませんのでご注意下さい。